

2023  
4  
April

# 町内会だより

tamagawagakuen-chounaikai 町田市玉川学園 2-19-5  
**玉川学園町内会** 月曜日～金曜日 10:00～16:00  
※祝祭日を除きます  
 Tel/Fax : 042-725-0438 t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp  
<https://tamagawagakuen-chounaikai.net> (※QRコードもご利用ください)

ホームページ  
アクセス



## 2023年度 定期総会のご案内

総務部

オミクロン株を中心とした第8波の感染状況も減少傾向に向かっております。そんな中、各種イベントも規制が緩和されつつあります。町内会としても、これらの状況に鑑み、定期総会を下記の通り対面にて行うことと致します。新年度に当たり、町内会の活動をご審議いただく場です。多くの方のご出席をお願い申し上げます。

**2023年5月28日(日)**  
**10:00～12:30**  
**町田第五小学校 体育館**

玉川学園町内会 会長 服部 知行

## 町田消防署からのお知らせ (住宅用火災警報器について)

防犯防災部

住宅用火災警報器によって出火を早期に発見できて家屋の焼失を未然に防いだ事例が報告されています。住宅用火災警報器と消火器を備えて、自身と家族の命を守り家屋等の焼失を防ぎましょう。



1. 火災による被害の軽減には住宅用火災警報器の設置が不可欠です。
2. 住宅用火災警報器を定期的(半年に1回以上)に点検しましょう。
3. 住宅用火災警報器は10年を目安として交換をお勧めしています。



資料1



資料3



資料2

住宅用火災警報器は、2006年に法律で設置が義務化され、多くのご家庭で一斉に設置されました。それから10年以上経過しています。古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなる恐れがあります。本体交換の目安は設置から10年です。自身で点検や交換ができない方はお近くの電気店にご相談ください。

### 住まいの防火防災診断

高齢者などを対象に無料で受けられる「住まいの防火防災診断」をご案内いたします。診断時に住宅用火災警報器の点検や取り付けも行っています。

ご希望の方は  
町田消防署防災安全係  
042-794-0119  
までご相談ください

**悪質な訪問販売に注意しましょう。**  
 「消防署員」を名乗って住宅用火災警報器を販売することはありません。

※資料1～3を紙媒体でご希望の方は最寄りの消防署へお問い合わせください

## 街の小さな音楽祭の報告

コミュニティ部

3月18日(土)に玉川学園コミュニティセンター多目的ホールで「街の小さな音楽祭」が開催されました。

玉川学園出身の音楽家である田川理穂さんが率いる3名の音楽家による日本の歌メドレーでは、共に歌を奏でる時間があり、参加者と共に合唱を楽しみました。また、オペラ歌手が奏でる日本の歌に魅了されて、真剣に聞き入る子ども達の姿があり、地域でしか味わえない素敵な体験になりました。

ら・ぽると吹奏楽団の演奏では、小学生から地域の大人が共に演奏してくださり、思わず体が弾む演奏を楽しませていただきました。ら・ぽるとジュニアコアの小学生の歌声は、かわいく、透き通る歌が響き、あたたかい柔らかな時間をプレゼントしていただきました。最後に玉川音頭で輪になり会場全体で心一つに踊るひとときに、この街で共に音楽を楽しめる事の幸せを感じ、今年度最後の町内会コミュニティ部の街を繋ぐ活動の締めくくりを飾る時間となり、またみんなに愛される街である事を噛み締める時間になりました。

YouTubeで  
公開されています  
ぜひご覧ください。



第1部



第2部

## きんじょの本棚 こすもす会館店の開店

コミュニティ部



コミュニティ部で4月に「きんじょの本棚こすもす会館店」を開設します。

「きんじょの本棚」とは自宅や店などの前に本棚を置いて自由に本を貸し借りする活動で、町田を中心に支店が増えていて現在では全国に150箇所以上の本棚が設置されています。本を通じて人の交流も期待されますので町内会では2021年度に町内会事務所前に「#68 町内会事務所店」を開設しましたが、今年度も3月にこすもす会館

の前のバス停わきに写真のようなかわいい本棚を設置しました。「#144こすもす会館店」として4月から本の貸し出しを開始します。

## 町内会からのお願い

総務部

新年度が始まりました。  
会費の徴収にご協力をお願いします。

支部長さん、班長さんが  
集金に伺います。

玉川学園町内会

## 入会へのお誘いをお願いします

新年度が始まるこの機会に、新しく越してこられた方がご近所にいらっしゃれば、町内会加入をお声掛けください。

私たち  
玉川学園町内会

安心・安全な町づくりを目指しています  
環境にやさしい町づくりを目指しています  
人と人のつながりを大切にしたい町づくりを目指します

つながり  
大切に



## 第二回防災体験学習の報告

防犯防災部

2月26日(日)に今年度2回目の防災体験学習が開催されました。参加者は、小さな子どもを含めて25名、前回同様に2班に分かれて学習しました。



日常生活事故防止コーナーでは、子どものベランダからの転落事故防止、バリアとバリアフリーを家族構成によって設置することを学びました。また、救出救助で一番大切なことは、最初に自分の身を守ること、次に各自ができる範囲で周りの人達と協力することだと説明を受けました。参加者からは、会社で防災担当をしているので参加した。次回は家族で参加したい等のコメントがありました。

いざという時のための「共助の大切さ」を改めて考えた、有意義な一日でした。

立川防災館は、10人以下であれば予約は不要です。是非ご家族でご利用ください。

## 清掃工場見学会で学んだこと

環境部

2月に引き続き、町田市清掃工場と最終処分場の見学会を3月22日に実施しました。60名を超える応募があったので、2月の抽選に外れた方々には優先的に参加できるようにしました。

普段生活する中で、ゴミ問題とどう向き合うかを最終処理現場を知ることによって改めて考えさせられました。そもそも社会に製品やサービスを提供する段階からゴミを出さない配慮をしてくれるのが望ましいのですが、家庭ゴミの水分を絞るほんのひと手間やミニコンポストの活用でゴミの総量を減らせます。展示場に並べられた家具や道具を見ていると、自分は使わなくなったものを再び使ってくれる人がいることが分かります。燃えないゴミの分別作業をガラス越しに見ることができましたが、金属の自動分別工程や電池による火災を防ぐ為の複数の手作業工程がありました。またゴミの微塵化や燃焼によって異なるエネルギーや別の素材に変えることが可能な事も理解できました。

最終処分場は現代の貝塚かと思いきや、多摩地域から持ち込まれる燃焼灰がエコセメントに変えられて、様々な製品や美術品の素材として使われていることを知り認識を新たにしました。更には埋立地が動物、昆虫や植物の自然の再生地になっている事も知りました。帰路立寄った滝山道の駅では地場の野菜を買うことができ有意義な一日でした。

## 第7回花を巡って焼き団子を開催しました

第二地区

4月1日(土)、今年もはなびら市に参加して「花を巡って焼き団子」を開催しました。こども広場には赤ちゃんから90歳代の方まで約250名の方に参加していただきました。



桜の開花が平年より早くイベント当日までに桜が散ってしまうことを心配していましたが、当日は2丁目の「さくらの散歩道」(注1)やこども広場の桜は、今年も地域のみなさんを待っていてくれるかの様に青空の下で咲き誇っていました。

イベントの受付を済ませるとスタンプラリーの地図を見ながらこども広場からスタートしてスタンプの場所を探します。スタンプの近くには「きんじょの本棚」出張所もあり、本を借りたらお店のクーポンもゲット!「お帰りなさい。よく頑張ったね」とゴールでスタンプを押してもらって、お団子券をいただき自分で

串に3個のお団子をさします。「柔らかくて、もちもち。お団子に桜の花びらがとまったよ」と言いながら小さな手に大きな串団子を持ってヤッキーさん(お団子を焼く方達)のところを持っていく子どもたち。ヤッキー



さん達は初夏のような強い日差しの中でお団子に醤油をつけながら一生懸命焼いてくれています。桜のはなびらがはらはらと舞散るなかで地域のみなさまが交流を深め春を満喫している一日でした。

(注1)「さくらの散歩道」(1992年、玉川学園地区町内会自治会連合会 制作) 30年前には多くの桜があって、「さくらの散歩道」と親しまれていました。再生できるようご協力ください。

## 日頃から試してみよう! 災害レシピ



今回もアルファ米を使います。目先を変えて甘いおやつを作ってみましょう。災害時、甘い物は疲れた心と体を癒してくれます♡

いつものおやつに作ってみてください。

### - かんたん白おはぎ -

※備蓄保存用の羊羹を使います。

鍋にアルファ米1カップ、水2.5カップ、砂糖小さじ1を入れ火にかけて、10分加熱。

炊きあがったら火を止め、水溶き片栗粉(片栗粉大さじ1+水大さじ1)を少しずつ加え再び弱火にかけ、よく混ぜて餅状(①)にする。

ラップの上におはぎ1個分の餅(①)を置き、中央をへこませ羊羹を一口大に切ったものを載せ、丸く形作る。



災害用羊羹は賞味期限が5年と長いものもあり、1本でカロリー補給ができるので備蓄保存に最適です!

## 第2回 アルファ米を使って甘いおやつを作ってみましょう。

～アルファ米とは～

お米を炊いてから乾燥させたもの、水や湯を加えるだけでご飯になります。賞味期限は3～5年。

### - 五平餅 (6本分) -

※非常食用白飯(アルファ米) 1パック100gを利用します。

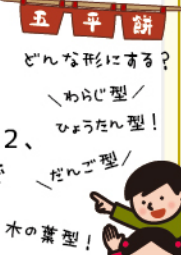
アルファ米1パックにお湯1カップ(200ml)、砂糖大さじ1を入れよくかき混ぜ、20分置く。

袋の上から米をつぶすようにもむ。

ラップに米の6分の1量を置き、割り箸を中央に載せてラップで米をくるむように楕円形に丸め平たくする。

全部で6本、フライパンで両面をこんがり焼く。

味噌大さじ2、みりん大さじ2、砂糖大さじ1をフライパンで練りタレを作り、6本の五平餅にからめる。

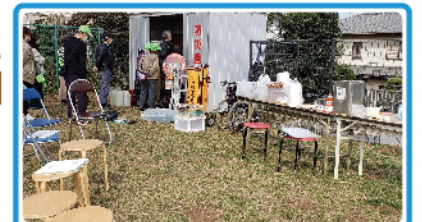


文・画 本田亮

## 安否確認の訓練の白いタオル出し

第二地区

3月12日、東日本大震災(3.11)の日にあわせ、安否確認の白いタオル出しの訓練とミニ炊出しを実施しました。



147軒と会員世帯の4割弱、全世帯の3割弱の参加がありました。実際の大災害が発生した時に地域の状況を早く把握することがタオル出し訓練の目的です。課題として、第二地区に含まれる商店の把握、各班長と防災隊との連絡、管理人のいないアパートへの連絡方法などがあります。また普段からお隣の独居者や高齢者の把握が必要です。限られた人員や器具で何ができるかを考えることが大事と考えています。これまで6回ほど、目的を絞った実地訓練をしました。今回はミニ炊出しでその労をねぎらいました。

## 資源回収の報告 2月重量は 70.5 トンでした

環境部

資源物は 収集当日の朝8時半までに出してください

※古紙・ダンボールは必ず紙ひもで括ってください ※古布は一度に出さず分散して出してください

資源物のお問い合わせは  
町内会事務所または 大興資源へ  
☎045-929-4813

資源物の不正な抜き取りを目撃した時は  
日時、場所、回収車の車両番号などを町内会まで  
☎725-0438